

# 応用動物昆虫学研究室

応用動物昆虫学研究室では、農耕地や都市空間、室内空間に植栽される各種作物や緑化植物に発生する害虫、特に微小昆虫や植物ダニを対象に、その生態と防除法を確立するための研究をおこなっています。

担当教員

教授 上遠野 富士夫 (かどの ふじお) 博士 (学術)



電話番号：042-387-7044

E-mail：[f.kadono@hosei.ac.jp](mailto:f.kadono@hosei.ac.jp)

<専門 (担当) 分野> 基礎植物害虫学、応用植物害虫学、診断技術論、植物ダニ学

<経歴> 埼玉県川越市に生まれ、千葉大学園芸学部園芸学研究科修了後、千葉県庁に入庁。千葉県農業大学校、千葉県農業試験場、千葉県原種農場、千葉県農業総合研究センター、千葉県農林総合研究センター暖地園芸研究所に勤務し、農業後継者養成、果樹や野菜の害虫防除に関する研究などに従事。2011年4月に法政大学生命科学部生命機能学科植物医科学専修に移り現在に至る。この間、1994年に千葉大学から「日本産フシダニ類の分類学的研究およびナシ寄生性ニセナシサビダニの生態学的研究」で学位 (博士 (学術)) を授与。1991年9-10月および1998年7-8月に文部科学省科学研究費海外学術調査 (主査：北海道大学) に参加し、マレーシア連邦におけるフシダニの分類学的研究に携わる。専門はフシダニの分類学および植物ダニの生態学。

<主な業績>

1. 上遠野富士夫 (2009) 日本原色植物ダニ検索図鑑. 全国農村教育協会. 東京. pp.156-172,230-245.
2. 上遠野富士夫 (2012) 田園環境の害虫・益虫生態図鑑. 北隆館. 東京. pp.277,287-300.
3. Ooida H. & F. Kadono (2012) Development of *Geocoris varius* and *G. proteus* (Hemiptera: Geocoridae) provided with *Ephestia kuehniella* (Lepidoptera: Pyralidae) eggs. *Applied Entomology and Zoology*. 47:365-372.

## 研究テーマ

上遠野 富士夫 (教授) : フシダニ上科、*Eriophyoidea* の分類学的研究

ウイルス症状を発症させるニサナシサビダニの生態学的研究

### <M1>

武井 円 : ウイルス媒介性シソサビダニ、*Schevchenkella* sp. の生態学的研究

### <B4>

青山 一輝 : ツツジサビダニ、*Acaphyllisa* sp. の発生生態

石橋 直樹 : ナシ園におけるハダニの多発要因の解明

及川 美穂 : アワダチソウゲンバイ、*Corythucha marmorata* の生態学的研究

大貫 碧 : チャノヒメハダニ、*Brevipalpus obovatus* のパイナップルセージ (*Salvia elegans*)

個体群は、なぜ同属のメドーセージ (*S. guaranitic*) に寄生できないのか?

小島 弘行 : マツヘリカメムシ、*Leptoglossus occidentalis* の生態学的研究—マツヘリカメムシの発育と温度の関係—

新貝 晃平 : マツヘリカメムシ、*Leptoglossus occidentalis* の生態学的研究—マツヘリカメムシの越冬生態と休眠性—

反町 奈津美 : アトリウム植栽植物における害虫多発要因の解明と防除—シュレイツメハダニ、*Oligonychus biharensis* に対する捕食性カブリダニ類の捕食反応と防除効果—

中務 花梨 : ハーブ植物に対するコナダニ類の忌避性

ニッ森 沙希 : アトリウム植栽植物における害虫多発要因の解明と防除—アトリウムにおけるコナカイガラムシ類の発生生態と薬剤防除効果—

新澤 大樹 : 各種ハーブ植物に対するネギアザミウマ、*Thrips tabaci* の寄生性

## 研究室のイベント

1. 農林害虫防除研究会 (徳島市) 2014 年 7 月
2. 国際ダニ学会議 (京都市) 2014 年 7 月
3. ゼミ合宿 (大月市) 2014 年 8 月
4. 研究所視察 2014 年 8 月
5. 日本ダニ学会 (盛岡市) 2014 年 10 月
6. 関東東山病虫害研究会 (茨城県) 2015 年 3 月
7. 日本応用動物昆虫学会 (山形市) 2015 年 3 月



ゼミ合宿（昆虫採集）：奥多摩に行きました



研究所等見学：日本曹達（株）小田原研究所を見学しました



研究室の親睦